

騒音防止方法変更届出書

記入例

〇〇年〇〇月〇〇日

※届出者は元請業者となります。

会津若松市長 様

届出者 会津若松市〇町〇丁目〇番〇号
〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇
電話番号 〇〇〇- 〇〇〇〇

法人にあつては、その代表者の氏名

福島県生活環境の保全等に関する条例第 66 条第 1 項の規定により、騒音の防止の方法の変更について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	△△株式会社 〇〇工場		
工場又は事業場の所在地	会津若松市△△町△丁目△番△号		
騒音の防止の方法	付表のとおり		
公害防止担当部課 (担当者氏名・連絡先)	〇〇〇〇課 担当 : 〇〇〇〇 (電話番号) 〇〇〇〇 - 〇〇 - 〇〇〇〇		
業種	中分類		小分類
事業の内容	※業種の分類は日本産業分類によります。 事業の内容は実際に行っているものを記入ください		

※整理番号		※受付年月日	年	月	日
-------	--	--------	---	---	---

備考

- 1 業種の欄は、日本標準産業分類により記入すること。
- 2 ※印の欄は、記入しないこと。
- 3 用紙の大きさは、日本産業規格 A 列 4 番とすること。

付表

騒音の防止の方法

	変更前	変更後
音源での騒音レベル (dB(A))	70 dB (機側より 1m)	70 dB (機側より 1m)
建屋の壁材質と厚さ	〇〇材を用いた壁、 厚さ：〇〇mm	〇〇材を用いた壁、 厚さ：〇〇mm
敷地境界までの距離 (m)	10 m	10 m
その他の騒音 防止対策	特になし	防音壁の設置 別途対策を行っている
敷地境界線での騒音 レベルの予測値 (dB(A))	60 dB	50 dB 下記の計算結果を記入
騒音指定工場等の 周辺の状況	周辺の状況について記入 なお、近隣50m以内に学校、保育所、病院、図書館、老人ホーム 等（※詳細については、別添付資料を参照してください。）がある場合は、必ず記入してください。	
(防音・遮音計算) 計算過程・結果を記入してください ※予測値が基準値を超えないよう防音対策をしてください。		

備考

- 1 その他の騒音防止対策の欄には、消音器の設置、音源室内の防音措置、遮音塀の設置等騒音の防止に関して講じようとする措置の概要を記入すること。
- 2 騒音指定工場等の立面図を添付すること。